

チビゴミムシダマシは個体数が多く見られた。

今回、神戸市の2ヶ所の海浜で採集をして感じたことは、残念ながら海浜が大変に汚れているということである。都会に近い海浜のため止むを得ない事なのかもしれないが、一見、砂の表面がきれいに見える場所でも、砂を掘ってみると、中から発泡スチロールやガラスの破片などが現われてくるが多かった。

須磨浦海岸は、ある程度の広さがあるが、本来ならば砂地はもっと後方まで伸びていて植物も多かったはずである。現在は住宅や水産関係の施設が浜の中まで進出し、甲虫類が棲息出来る場所は非常に限られているように思われた。

垂水区海岸通りの方はJR垂水駅のすぐ近くにあり、面積も狭くゴミと犬の糞だらけで、とても海浜と呼べるような所ではなかった。

甲虫達は環境の悪化が進む中で、ようやく自分達の居場所を探して細々と棲息しているようである。今回は冬期であったので得られた種類も上記の通り少ないが、春から秋にかけての活動期には更に多くの甲虫類が見られるものと思う。

神戸市の蜻蛉相（ヤンマ科）

青木典司

神戸市の蜻蛉目については、北区道場付近のトンボ相40種について、故岩崎正道氏が本誌第5巻1/2号で報告されており、さらに総括的に故松本健嗣氏が本誌第10巻第2号で「神戸市周辺の蜻蛉目」として81種を報告している。筆者は1988年から継続して神戸市のトンボ相の解明に力を注いでおり、一応の成果を得た。その結果、神戸市で現在までに記録されたトンボ類（蜻蛉目）の種類数は、88種・亜種にのほる（ただし目撃のみの記録1種を含む）ことが分かった。概略の報告（青木1991a）及びサナエトンボ科の詳細な報告（青木1991b）は行ったが、他の科についてはデータの公表はしていない。開発が加速度的に進んでいる神戸市の状況を考えると、現時点で採集データを記録することは重要であると考え、今回はまずヤンマ科について記録しておきたい。過去に発表されたのと同じ場所での記録もあるが、最近の記録として発表することにした。

記録中、「幼」は幼虫を表わし、「殻」は羽化殻を表わす。

1. サラサヤンマ *Oligoaeschna pryeri* (MARTIN)

北区山田町上谷上：1♂, 1. VI. 1991. 1♂, 4. VI. 1991. 1♀, 1. VI. 1992.

北区淡河町野瀬：1♂, 1. VI. 1991. 1♂, 12. VI. 1992.

北区道場町生野：1♀, 25. VI. 1992.

本種は、帝釈・丹生山系に点在する湿原、及び道場の湿原に見られる。数は少ない。

2. ミルンヤンマ *Planaeschna milnei* (SELYS)

北区山田町下谷上（再度山）：1♀, 13. VIII. 1971.

北区山田町下谷上（谷山川）：4♂1♀, 12. VIII. 1990.

北区山田町原野（柏尾谷川）：1♀幼, 16. II. 1991.

北区八多町（屏風川源流）：1♂幼, 6. III. 1991.

北区道場町生野：1幼, 18. VI. 1991.

灘区六甲山町中一里山（穂高湖）：1♀幼, 12. III. 1991.

灘区六甲山町西山谷（西山谷川）：1♀幼, 25. II. 1991.

灘区六甲山町篠原（大日川源流）：1♂幼, 6. XII. 1991.

東灘区本山町森：1♂1♀, 28. VIII. 1990. 1♂幼, 22. VI. 1992.

本種の棲息地は河川源流なので、自然公園六甲山を抱える神戸市には棲息環境が多数残っている。

今後も六甲山が残る限り、棲息し続けていくであろう。

3. コシボソヤンマ *Boyeria maclachlani* (SELYS)

北区山田町下谷上（谷上駅前）：1♂, 25. VIII. 1988.

北区山田町下谷上（生田川）：1♂, 19. VIII. 1989.

北区山田町下谷上（天王川源流）：1♂1♀, 25. VIII. 1989. 1♂, 24. VII. 1990. 2♂, 1. VIII. 1990. 1♀, 13. VIII. 1990. 1♂, 23. VIII. 1991.

北区淡河町野瀬（屏風川）：1♂幼, 4. IV. 1991.

北区道場町生野（船坂川）：3♂, 2. VIII. 1990.

中央区葺合町市が原（生田川）：1♂, 19. VIII. 1989.

灘区六甲山町五介山（五助ダム）：1♀幼, 13. II. 1991.

河川中流の環境は、大都市においては著しく改変される。本種も元来は河川中流から上流にかけて棲息する種であるが、神戸市での棲息地はかなり上流域に偏っている。

4. アオヤンマ *Aeschnophlebia longistigma* SELYS

北区淡河町野瀬（屏風川）：1♂, 26. V. 1991. 1♂, 1. VI. 1991. 1♂, 15. VI. 1991.

西区岩岡町岩岡（寛政池）：1♂2♀, 15. VI. 1992.

西区栢谷町寺谷：3♂，21. VI. 1991. 2♀・2♀殻，16. V. 1992. 1♀，7. VII. 1992.
西区栢谷町松本（湯出池）：1♂幼，6. II. 1992. 1♀幼，9. III. 1992. 1♂1♀幼，
15. IV. 1992. 1♀殻，26. V. 1992. 1♂1♀，13. VI. 1992.
垂水区名谷町字猿倉（猿倉池）：2♂，27. VII. 1990. 1♂，28. VI. 1990. 1♂，26. VI. 1991.
垂水区塩屋台（塩屋大池）：3♂，26. VI. 1991.
垂水区美山台（菅ノ池）1♂，26. VI. 1991.

ヨシヤガマの繁茂する古い池沼に棲息する。神戸市では休耕のため放置されたため池や、市街地に取り残されて管理が放棄されたため池に生き残っている。このようなため池はいずれは消える運命にあるから、本種の将来は暗い。

5. ネアカヨシヤンマ *Aeschnophlebia anisoptera* SELYS

西区栢谷町寺谷：1♀，11. VII. 1991.

本種は稀種に属するヤンマである。しかし、数は少ないものの、筆者は明石公園や淡路島、小野市などで採集しているので、結構まだ生き残っている。黄昏時に伊川谷町布施畑の谷で飛翔するのを目撃している。

6. カトリヤンマ *Gynacantha japonica* BARTENEF

北区淡河町勝雄：1♀，11. IX. 1990.

北区山田町小河：1♂1♀幼，

北区山田町西下：1♂2♀幼，14. VI. 1991. 1♀，16. VIII. 1991. 1♀，20. VIII. 1991. 1♂，
28. VIII. 1991.

北区筑紫が丘（開発以前）：1♀，2. VII. 1971. 12. IX. 1971.

西区伊川谷町前開：28. VIII. 1990.

西区栢谷町松本：1♂，5. IX. 1992.

西区栢谷町寺谷：1♂，20. VII. 1991. 1♂，27. IX. 1991.

西区伊川谷町布施畑：1♀，17. VIII. 1991.

垂水区名谷町字猿倉（猿倉池）：1♂，6. VII. 1991.

須磨区多井畑奥須磨公園：1♀，26. VII. 1990.

田圃の際の水溜りなどで繁殖する。薬剤散布で数は減ったものの、夏の夕方、田圃の上を多数が敏捷に飛翔する姿を、まだまだ観察できる。

7. ヤブヤンマ *Polycantbagyna melanictera* (SELYS)

北区山田町下谷上（二十渉）：1♂1♀殻・1♀幼，7. VII. 1990.

北区山田町下谷上（天王川源流）：1♂1♀，24. VII. 1990. 1♀幼，14. VI. 1991.

北区山田町西下：1♂1♀，16. Ⅷ. 1991.

北区山田町小河：1♂幼，1. Ⅲ. 1992.

西区押部谷町木津：1♀，26. Ⅶ. 1991.

西区栢谷町寺谷：1♀幼，13. Ⅵ. 1992.

西区伊川谷町布施畑：2♂2♀，17. Ⅷ. 1991.

須磨区多井畑奥須磨公園：1♂，14. Ⅷ. 1990.

東灘区本山町森：1♂幼，22. Ⅵ. 1992.

神戸市各地の谷筋で，夏の夕方高空を飛翔する姿が観察できる。

8. ルリボシヤンマ *Aeshna juncea* (LINNAEUS)

東灘区本山町森：1♂，21. Ⅸ. 1990. 1♂1♀幼，19. Ⅲ. 1991.

北区山田町下谷上：1♀，26. Ⅸ. 1992.

元来，東北日本に棲息するヤンマであり，兵庫県でもハチ北や氷ノ山などの高山にしか棲息していない。六甲山系の東方芦屋市との市境，黒越谷に棲息している。

9. オオルリボシヤンマ *Aeshna nigroflava* MARTIN

北区山田町下谷上（生田川上流，八州嶺堰堤）：1♂，19. Ⅷ. 1989.

同（森林植物園）：1♂，25. Ⅷ. 1989.

同（洞川湖）：1♂，24. Ⅸ. 1990.

北区山田町小河：1♂，30. Ⅸ. 1989. 1幼，20. Ⅻ. 1991.

北区山田町西下：1♂1♀，16. Ⅷ. 1991.

西区伊川谷町布施畑：1♂，1. Ⅸ. 1991.

中央区神戸港地方（再度ドライブウェイ）：1♂1♀，23. Ⅷ. 1991.

中央区葺合町（字川）：1♂，20. Ⅷ. 1971.

灘区摩耶山町：1♀，31. Ⅷ. 1990.

灘区六甲山町中一里山（穂高湖）：1♂，31. Ⅷ. 1990.

同（瀬池）：1♂，22. Ⅷ. 1991.

東灘区本山町森（黒越谷）：3♂，28. Ⅷ. 1990. 1♀・2♂2♀殻，30. Ⅷ. 1990. 1♂1♀，4. Ⅸ. 1990. 1♂，13. Ⅹ. 1990. 1♀幼，19. Ⅱ. 1991. 1♂1♀幼，22. Ⅵ. 1992.

本種は六甲山系に広く棲息している。真夏，水生植物が繁茂する池沼にはたいがい飛んでいる。

10. マルタンヤンマ *Anaciaeschna martini* (SELYS)

北区山田町西下：1♂，16. Ⅷ. 1991. 1♂，20. Ⅷ. 1991.

西区栢谷町寺谷：2♂1♀幼，16. Ⅴ. 1992. 1♂2♀幼，26. Ⅴ. 1992.

夏の夕刻、ヤブヤンマに混じって高空を一直線に飛ぶ姿が観察できる。数が少なく、また幼虫は見つかりにくく棲息状況を把握することが難しい。

11. クロスジギンヤンマ *Anax nigrofasciatus nigrofasciatus* OGUMA

北区淡河町野瀬：1♂殻，23. IV. 1991.

北区山田町下谷上（天王川源流）：1♀，23. V. 1990.

北区山田町西下：1♂，14. VI. 1991.

北区山田町小河：1♂2♀幼，26. II. 1991. 2♀殻，21. IV. 1991. 1♂，14. V. 1991. 1♀幼，27. IV. 1992.

西区押部谷町高和（清水谷池）：1♂，26. V. 1990.

西区玉津町水谷（五番池）：1♂，13. VI. 1992.

須磨区多井畑奥須磨公園：1♂，22. V. 1990. 1♂，22. VI. 1990.

灘区摩耶山町：1♀，5. VII. 1975. 3♀幼，20. III. 1991. 1♀，10. VII. 1991.

灘区六甲山町一里山（穂高湖）：1♂幼，12. III. 1991.

春早くから出現するヤンマで、平地では7月上旬には見られなくなるが、六甲山系では9月まで観察できる。

12. ギンヤンマ *Anax parthenope julius* BRAUER

北区山田町下谷上（谷上駅前）：1♂，25. VIII. 1988.

北区山田町小部二軒茶屋：1♂，15. VIII. 1990.

北区山田町小河：1♂幼，31. I. 1991. 1♀幼，27. II. 1991. 1♂1♀幼，27. IV. 1992.

北区山田町西下：1♂1♀，20. VII. 1991.

北区淡河町野瀬：1♂殻，23. IV. 1991. 1♂，19. VII. 1991.

北区淡河町野瀬（屏風川）：1♂，11. VI. 1991.

北区淡河町勝雄（淡河川）：1♂，16. VIII. 1991.

西区押部谷町高和（清水谷池）：1♀，29. VIII. 1989. 1♂，16. VIII. 1990.

西区玉津町水谷（芳ヶ谷池）：1♂，21. IX. 1991. 1♂，15. X. 1991.

西区玉津町水谷（五番池）：1♂幼，9. III. 1992.

西区扨谷町寺谷：1♂，20. VII. 1991. 1♂，21. VII. 1991. 1♀，16. VIII. 1991.

西区扨谷町谷口（大池）：1♂，22. IX. 1991. 1♀幼，5. III. 1992.

西区扨谷町松本（湯出池）：1♂，28. IX. 1991. 1♂，26. V. 1992.

西区伊川谷町布施畑：1♀幼，17. IX. 1991. 1♂1♀，17. VIII. 1991.

垂水区美山台（菅ノ池）：1♂，21. VI. 1990.

垂水区塩屋台（塩屋大池）：1♂，26. VI. 1991.

須磨区多井畑奥須磨公園（小松池）：1♂，1. VII. 1990. 1♂1♀，15. VIII. 1991.

中央区葺合町宇川：1♂，26. VII. 1971.

中央区熊内橋通：1♂，8. IX. 1971.

灘区摩耶山町：1♂幼，12. III. 1991.

神戸市全域に棲息しているが数は減っている。黄昏時に群れ飛ぶ姿は、神戸市ではもはや過去のものとなったような感がある。

以上、採集記録は、12種であるが、西区扨谷町松本（湯出池）において、1992年8月22日にオオギンヤンマ *Anax guttatus* (BURMEISTER) を目撃している。これは飛来による偶産である。ネアカヨシヤンマ、サラサヤンマ以外については、すべて幼虫の棲息を確認しているため、神戸市に定着していることは間違いない。サラサヤンマの幼虫は特殊な環境に生活し、非常に発見しにくい。しかし、同じ場所で何度も♂の縄張りを観察し、産卵行動も見ているので定着しているといつて良いであろう。ネアカヨシヤンマについては、公式に発表はされていないが、産卵行動の観察報告を受けている。本種は市内で場所を点々としながら、細々と発生を繰り返していると思われる。

<参考文献>

青木典司，1991a. 神戸市のトンボ相・分布追認調査. *gracile*, 45:27-32.

———，1991b. 神戸市のサナエトンボ調査. *gracile*, 46:13-18.

岩崎正道，1977. 神戸市兵庫区道場付近のトンボ相. *きべりはむし*, 5(1/2):1-7.

松本健嗣，1982. 神戸市周辺の蜻蛉目. *きべりはむし*, 10(2):1-10.

キンボシハネカクシ神戸市内で採集

(兵庫県甲虫相資料・268)

高橋寿郎

キンボシハネカクシ *Ocybus weisei* Harold, 1877. とにかく美しい大形のハネカクシである。筆